

討 論

ーこんな理由で賛成・反対しましたー

12月14日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。
討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。概要は次のとおりです。

議案第94号 能美市立保育園条例の一部を改正する条例

幼保連携型認定こども園「福島こども園」へと民営化することを前提に、現在の福島保育園を令和3年3月31日をもって廃止するものである。

政府の保育政策として、保育園の補助制度を交付税措置に変えたこと、また、建設費や運営費への国の補助を民間有利にし、措置制度から認定こども園の制度に移行させ、民間へと政策誘導していることが問題であり、本来、保育や教育、福祉の向上は行政の責任で行うべき事業である。

子どもたちの成長や発達に必要な「遊び」を基本とする能美市の保育制度は素晴らしいものがある。保護者からは「教育的要素を」の声もあるが、保育園事業への予算配分を行えば、保育内容の充実を更に図ることも可能である。

したがって、公立の認定こども園を廃止し、民営化することには賛成できない。

反 対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛 成

卯野 修三
議員

市内の方を対象にした、幼保連携型認定こども園についてのアンケートの中で、教育的な要素が欲しいという多様な意見があったこと。また、現状として近隣の幼稚園をあえて選んでいる子どもや家庭もある中で、そのような多様なニーズに応えていくのも行政の行うべき課題であり、市が今後もこのような幼保連携型認定こども園を推進していくことに賛成する。

「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」の採択を求める請願書

日米地位協定の抜本的見直しを全国知事会が提言していることは、かつてなかったことであり、国民の生命・財産・領土領海を守る立場から、国に対し、意見を述べていることは感慨深いものがある。

日米地位協定は米軍に特権を許し、米軍はやりたい放題である。米軍機の配備は、一方的な通知で、いつでも、どこでも可能で、米軍の犯罪は日本の裁判では裁かれない。特に、米軍基地の7割が集中する沖縄では、ここ8年間で822件の米兵による犯罪が行われ、強盗、殺人等の凶悪事件も頻発している。世界で断然トップの米軍駐留経費は、「思いやり予算」という法的根拠のない費用負担まで求められている。

今こそ、米軍の特権を見直し、日本の正当な権利を認める「日米地位協定の抜本改定」が必要と考え、賛成する。

賛 成

佐伯 富美子
議員
(日本共産党)

意見書

- 「小・中学校における少人数学級の実現と教育予算の拡充を求める意見書」を可決
- 「防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書」を可決

賛否が分かれた議案

(○：賛成、●：反対) ※議長は採決を行いません

議 案 名	山下 毅	卯野 修三	佐伯 富美子	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中大 佐久	田中 策次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美市立保育園条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
令和2年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。